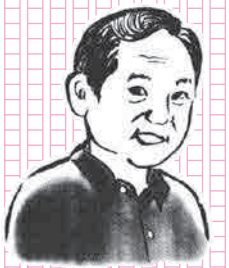

町長エッセイ

今年は春の花が先を競って咲いた感があり、近年には珍しく入学式に桜の花はなく葉桜でしたが、各学校には元気な声が響き、入学式が行われました。町内の小学校６校で１６８人、中学校３校で１８５人が、新たな学校での学びをスタートしました。小学校には一桁の入学児童数の学校もあり少子化対策は重要課題ですが、新装オープンした子育て総合センター「ココット」を中心に子育て支援を展開したいと考えます。

県立小川高等学校には、１９９人の生徒が町内外から入学しました。皆さんに自然と歴史･文化など町の良さを知ってもらい、若さを町の活力に生かしてもらえる方向を探っていきます。

財務省関東財務局のコーディネートで、地域経済活性化フォーラム（小川町・嵐山町）を契機とした取組が始まろうとしています。地方創生を地方公共団体だけでなく、地域の経済団体・金融機関などの主要団体が地域の課題を整理し、地域経済活性化を支援することを目的としており、今回は「小京都の連携による観光振興」がテーマとなっています。

松本恒夫